

東建パブリニュース

平成28年11月4日

経営管理本部 広報IR室

《このニュースは、当社に関連する記事が掲載された新聞・雑誌等の情報を逐次、速報するものです。》

掲載

平成28年10月11日 日刊産業新聞 P. 6

●当社に関する記事の掲載がありましたので、以下の通りご報告いたします。

高級タワーマンション

東建コーポ建設を加速

名古屋中心地区

【名古屋】東建コーポレーションは、名古屋市中心地区での高級タワーマンションの建設を加速させる。中区栄に建設するホテル型の高級賃貸マンション『栄タワーヒルズ』を5日、着工。高さ100m超、地上28階、地下1階のタワーマンションで、構造は鉄筋コンクリート(RC)造および鉄骨(S)造。鋼材使用量は、鉄筋約4000t、鉄骨約750tの見込み。竣工は2019年2月の予定。

『栄タワーヒルズ』は、名古屋市中心部の白川公園の東に隣接し、名古屋城と熱田神宮を結ぶ歴史ある本町通りと、戦後整備された若宮大通り(通称100m道路)が交わる場所に、新たなランドマークとして建設。物件概要は、敷地面積3

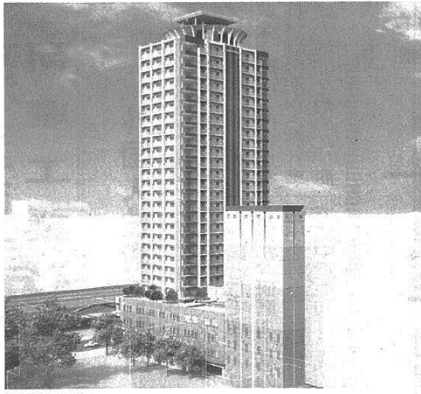
102・41平方m、建築面積1970・8平方m、延床面積2万6866・69平方m、住宅オフィス棟、タワーパーキング等、駐車場棟の3棟で構成される。

1階は東建の関連会社オフィス、2階が子会社の自社工場製住宅設備機器などの体験型ショールーム、テラスラックショールームと「仮称」刀剣コレクションホール、3・4階がオフィスゾーン、5階がフィットネス・屋上庭園、5・27階が24時間コンシェルジュが常駐するホテル型高級賃貸ゾーン(156戸)、28階は屋上展望テ

ラックとなる。オフィスゾーンには東建の本社機能の一部も中区丸の内から移転する予定となっている。

同社は、賃貸用アパートやマンションの建設を手がける大手業者。木造や高耐震鉄骨造、重量鉄骨造の3階建てアパートや、5階建て以上のRC造マンションなどを主力商品に事業を展開しており、子会社でS造用の鉄骨製作工場も保有している。

今回の『栄タワーヒルズ』は、都市型の大規模賃貸マンションとして開発するもので、07年に名古屋千種区に建設した『千種タワーヒルズ』に次ぐ2棟目の物件。今後同社では、さらに同様のタワーマンションを建設していく計画で、既に同市中央区内に1000平方m以上の用地も確保済み。賃貸もしくは分譲形態も視野に開発を加速させ、市街地中心部での居住ニーズをキャッチアップしていく方針だ。



名古屋中心部に建設する高級タワーマンション